

■ 第二外科

1) 習得すべき項目と習得に必要な期間

山形大学医学部第2外科は循環器外科（心臓血管外科）、呼吸器外科そして小児外科領域の診療を担当している。ほとんどの症例は内科（循環器科や呼吸器内科）や小児科からの紹介であるため、術前の診療はそれぞれの科が主体となる場合が多い。従って当科カリキュラムでは、緊急もしくは早期に外科的処置を必要とする疾患や病態を重点に、手術適応や手術とそれに伴う合併症、術後管理について習得する。また、主な手術に助手として参加するとともに、基本的な外科的手技・処置についても習得する。

循環器外科（心臓血管外科）

- ・ 主な後天性心疾患（虚血性心疾患、弁膜症等）の診断、手術適応と手術、術後管理
- ・ 主な先天性心疾患（心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、チアノーゼ性心疾患）の治療
- ・ 大血管疾患（大動脈解離、大動脈瘤）の症候、診断、手術適応と手術、術後管理
- ・ 急性動脈閉塞症と慢性動脈閉塞疾患の症候、診断、手術適応と手術、術後管理
- ・ 静脈疾患（深部静脈血栓症、静脈瘤等）の症候、診断、手術適応と手術、術後管理

呼吸器外科

- ・ 呼吸器系の画像検査（X線、CT、MRI、核医学検査等）
- ・ 気管支鏡検査の適応、手技、合併症
- ・ 原発性肺癌の分類、症候、診断と治療
- ・ 転移性肺腫瘍の診断と治療
- ・ 気胸の症候、診断と治療
- ・ 炎症性肺疾患の症候、診断と治療
- ・ 縦隔腫瘍の症候、診断と治療

小児外科

- ・ 乳幼児・小児の輸液療法、人工肛門の管理
- ・ 鼠径ヘルニアの症候、診断と治療（整復、手術）
- ・ 急性虫垂炎の症候、診断と治療
- ・ 先天性消化管疾患（食道閉鎖症、肥厚性幽門狭窄症、腸閉鎖症、鎖肛、ヒルシュスブルング病等）の症候、診断と治療
- ・ 先天性胆道系疾患（先天性胆道拡張症、胆道閉鎖症等）の症候、診断と治療
- ・ 先天性横隔膜ヘルニアの症候、診断と治療
- ・ 小児悪性腫瘍（固形腫瘍）の診断と治療

その他全般

- ・創やドレーンの管理法
- ・静脈ライン，中心静脈ラインの確保
- ・気管切開法
- ・胸腔穿刺，胸腔ドレナージ

上記項目の習得に要する期間は各診療科（循環器外科，呼吸器外科，小児外科）4～6週間を考えている．大学病院という特殊性や，疾患の発生頻度等により期間内に経験出来る症例に限られることがあり，その他はケースカンファレンスや，文献，ガイドライン等から習得する．尚，上記診療科を複数科選択する場合には8週間程度の期間を要する見込みである．

附) General physician として診療に従事する際に，早急な治療や専門施設への搬送が必要とされる疾患や病態（特に当科特有と考えられる疾患）.

<循環器外科>

- ・急性大動脈解離
- ・大動脈瘤切迫破裂・破裂
- ・急性動脈閉塞
- ・深部静脈血栓症
- ・外傷性心大血管損傷

<呼吸器外科>

- ・気胸
- ・肺挫傷，多発肋骨骨折
- ・胸水貯留，血胸，膿胸
- ・気管支異物
- ・壊死性下降性縦隔炎

<小児外科>

- ・鼠径ヘルニア嵌頓

第2外科習得カリキュラム

<循>: 循環器外科G <呼>: 呼吸器外科G <小>: 小児外科G

	AM			PM			
月	術前検討会 (8:00 - 5東CR)	病棟回診	外来業務 病棟業務	病棟業務 検査 <呼> 気管支鏡検査 <小> 造影検査等	夕回診 <呼> 15:30 - <循・小> 16:30 -	抄読会・予演会・医局会 (17:00 - 医局CR)	
火	連絡会 (8:00 - 8東CR)	病棟回診	手術	<呼> CBT <呼> 呼吸器カンファレンス (17:00 - MRI CR)(17:30 - 放射線医局CR)			
水	術前術後検討会 (8:00 - 5東CR)	病棟回診	外来業務 病棟業務	教授回診 (13:30 - 8東, 5東, ICU) <小> 検査	病棟業務	夕回診 <呼> 15:30 - <循・小> 16:30 -	<循> 循環器カンファレンス (17:30 - 5東CR)
木	連絡会 (8:00 - 8東CR)	病棟回診	手術	<呼> 気管支鏡検査			
金	術後検討会・抄読会 (8:00 - 5東CR)	病棟回診	外来業務 病棟業務	病棟業務 検査	夕回診 <呼> 15:30 - <循・小> 16:30 -		

(CR: Conference Room)